

中部の未来創造大賞の特別賞に選ばれました！

12月13日午後3:30より名古屋市において、中部の未来創造大賞推進協議会主催の「12回中部の未来創造大賞」の授賞式が行われました。未来創造大賞とは新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようとするもので、中部5県の範囲で住民部門、企業・学校部門、行政部門から36件の応募の内、9団体が選考されたのです。

この中で郷土研究班は特別賞の「中日新聞社賞」を頂くことができました。

表彰式の出席者は今井信繁班長（松本鎌田中出身）・森中謙斗班員（2年、長野北部中出身）・山岸巧実班員（1年、小布施中出身）の3名です。

郷土研究班の単独活動だけではなく地域住民との関わり、長野市開発公社や長野県学習旅行誘致推進協議会との連携も評価されたようであります。過日の中日教育賞受賞（顧問）に次いで受賞ということで、これを励みにして、松代大本営の研究・調査及び広報普及活動、また国の史跡指定に向けて地道な努力を積み重ねていこうと考えています。



前田弘司中日新聞論説委員より表彰状の授与を受ける今井信繁班長